

—概要—

りんくう総合医療センター整形外科は昭和38年に開設されました。

当科では平成24年4月より一部スタッフの交代に伴い、従来から力を入れておりました人工関節も含めて整形外科全般にわたり高度な医療を提供すべく体制を整えました。南大阪・泉州地区における拠点整形外科として、大阪大学整形外科との密接な連携の元、周辺地域から頼られる整形外科でありたいと考え、診療を続けています。

脊椎センターでは、腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症、脊椎後縦靭帯骨化症、胸椎疾患などに対して積極的に外科治療を行って早期社会復帰させることを治療目標としています。

頸椎症性脊髄症に対して多椎間病変では、主に片開き式の椎弓形成術、単椎間例では顕微鏡下前方除圧固定術を行っています。不安定性のあるものや後弯変形の矯正が必要な例には、頸椎椎弓根スクリューを用いたインスツルメンテーションを併用しています。上位頸椎手術も積極的に行っており、例えば環軸関節亜脱臼(特に関節リウマチ)、転移性上位頸椎腫瘍などには各種の後方固定術、後頭骨—頸椎間固定術や環椎外側塊スクリューあるいは椎弓根スクリュー使用による再建術を行っています。

腰部脊柱管狭窄症に対しては、開窓術・椎弓切除術を行い、腰部筋肉の侵襲を最小限としています。また不安定性を伴ったすべり症や変性側弯症の症例には、PLIF(後方進入腰椎椎体間固定術)やTLIF(経椎間孔進入椎体間固定術)など脊椎インスツルメンテーションによる固定術を行っています。腰椎椎間板ヘルニアにおいては、基本は保存療法ですが硬膜外ブロックや神経根ブロックが無効で日常生活障害が顕著な例には、小皮切による(顕微鏡下)ヘルニア摘出術や可能な症例には内視鏡下椎間板摘出術も積極的に行っています。

転移性脊椎腫瘍や脊椎損傷なども可能なかぎり手術治療をはじめとして最良の治療を患者さんに提供できるように心がけております。

術後は、頸椎、腰椎ともに翌日にドレーンを抜去し早期離床を許可しています。除圧のみの症例では術後約2週で、固定術を併用した症例でも2-3週間で退院可能となっています。もちろん麻痺の程度によっては1-2ヶ月のリハビリを行うこともあります。

当院脊椎外科クリニックでは、より安全かつ円滑に低侵襲手術を心がけております。その他にも、地域の近隣病院と連携しつつ、あらゆる脊椎疾患に対応いたします。

人工関節センターでは、股関節、膝関節を中心に従来から定評のある人工関節システムを用い、貯血式自己血輸血及び回収式自己血輸血を併用した、出来るだけ同種血輸血を避ける手術を実現しています。また手術時は必ずクリーンルームを使用し万全の感染対策を行っています。

—研究業績数—

	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度 令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	計
英文原著、 総説、著書	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	5
和文原著、 総説、著書	0	0	2	3	2	2	2	6	0	0	17
国際学会報告	1	2	0	0	5	5	6	3	0	0	22
国内学会報告	4	5	7	0	10	6	9	11	6	0	58
研究会・講演会	0	0	3	0	4	2	3	2	2	0	16
学術講演・講義	0	0	4	0	3	2	2	2	0	0	13
院内研究活動	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
座長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	7	16	3	25	20	24	24	8	0	133

研究業績：診療局 整形外科

平成23年度

(1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研究会名	年 月 日
1	Modified saue-kapandji procedure for rheumatoid wrist:Results of follow up for more than 5 years	Kawabata, A., Hashimoto, H., Masada, K., Egi, M.	American Academy of Orthopaedic Surgeons	2011. 2. 15-19
2	外反膝に対するモバイルベアリング型人工膝関節の術後成績	太田一威 石川直樹 平塚雅之 金澤元宣 櫛谷昭一 橋本英雄	第41回日本人工関節学会	2011. 2. 26
3	大腿骨近位部病的骨折に対して腫瘍用人工骨頭置換術を施行した1例	平塚雅之 太田一威 石川直樹 金澤元宣 櫛谷昭一 橋本英雄 玉井宣行	第42回大阪骨折研究会	2010. 12. 11
4	股関節造影後 Digital Tomosynthesisを用いた FAI の股関節関節唇と軟骨損傷の評価	藪野互平 渋谷高明 大澤 傑	第118回中部整形外科災害外科学術集会 大阪	2012. 4
5	B 型肝炎既感染例の関節リウマチ患者における生物製剤使用例のウイルス量の動向と B 型肝炎再活性化について	藪野互平 渋谷高明 夏梅隆至 大澤傑	第56回日本リウマチ学会 総会 学術集会 東京	2012. 4

(2) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	転移性脊椎腫瘍について	金澤元宣 橋本英雄	2010. 6. 24

平成24年度

(1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研究会名	年 月 日
1	Early failure associated with ARMD of metal-on-metal bearings in large-diameter total hip replacement -Recurrent dislocation suggested AMRD?	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	International Society for Technology in Arthroplasty (Sydney)	2012. 10
2	Clinical results of total hip arthroplasty (THA) for secondary hip osteoarthritis(OA) associated with Perthes-like change.	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣 大澤 傑	International Society for Technology in Arthroplasty (Sydney)	2012.10
3	大骨頭径 Metal on Metal THA 後に ARMD のため revision THA に至った1例	藪野互平	第42回日本人工関節学会	2012.2
4	骨腫瘍を疑い生検を行ったが腫瘍が否定されたため大腿骨骨切り術を行った症例	藪野互平	第32回関西股関節研究会	2012.4
5	CT based navigation を用いた Transverse Acetabular ligament を指標とした術中 Cup 前捻角の測定	藪野互平	第39回日本股関節学会学術集会	2012.12
6	股関節造影後 Digital Tomosynthesisを用いた FAI の股関節関節唇と軟骨損傷の評価	藪野互平 渋谷高明 大澤 傑	第118回中部整形外科災害外科学術集会 大阪	2012.4
7	B 型肝炎既感染例の関節リウマチ患者における生物製剤使用例のウイルス量の動向と B 型肝炎再活性化について	藪野互平 渋谷高明 夏梅隆至 大澤傑	第56回日本リウマチ学会 総会 学術集会 東京	2012.4

平成25年度

(1) 原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻 (号)	ページ	年
1	CT based navigationを用いたtransverse acetabular ligamentwを指標とした術中 Cup前捻角の測定	藪野互平 澤田典与司 渋谷高明 大澤 傑	HipJoint	39	782-785	2013
2	健康な運動部男児に発生した股関節周囲膿瘍の1例	渡邊真生 澤田典与司 小瀬弘樹 藪野互平 金澤元宣	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	56	1143-1144	2013

(2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
1	健康なバスケットボール部男児に発生した股関節周囲膿瘍の1例	渡邊真生 澤田典与司 小瀬弘樹 藪野互平 金澤元宣	第120回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	2013.4.5-6
2	生物製剤スイッチ後に暖除に発生した多発性化膿性関節炎2症例	藪野互平 小瀬弘樹 金澤元宣	第57回日本リウマチ学会	2013.4.18-20
3	C3-6椎弓形成術と比較したC3-5椎弓形成術の術後軸性疼痛の経時的検討	渡邊真生 有賀健太 辻 寛謙 大堀智毅 竹内ひかり 原田武雄 垣内雅明	第42回日本脊椎脊髄病学会	2013.4.24-27
4	再置換を要したMoM THAの経験	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第35回関西股関節研究会	2013.4.27
5	CroweIV脱臼性股関節症に対するCT based navigation使用した短縮骨切りTHAのカップ設置の経験	藪野互平 澤田典与司 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣	第40回日本股関節学会	2013.11.29-30
6	京セラ alumina on alumina THAの10年成績	澤田典与司 藪野互平 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣 榎谷昭一	第40回日本股関節学会	2013.11.29-30
7	異所性骨化により生じた強直股の治療経験	渡邊真生 澤田典与司 野上雅史 小瀬弘樹 藪野互平 金澤元宣	第36回関西股関節研究会	2013.12.14
8	UKAにおけるNavigationの脛骨コンポーネント設置精度	澤田典与司 藪野互平 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣	第44回日本人工関節学会	2014.2.21-22
9	CT based Navigation人工股関節全置換術における大腿オフセット変化による軟部組織バランスの評価	藪野互平 澤田典与司 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣	第44回日本人工関節学会	2014.2.21-22
10	10 years results of alumina-on-alumina THA with cemented polyethylene-backed	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	AAOS 2014 Annual Meeting	2014.3.11-15

(3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	これからの股関節外科にもとめられること	藪野互平	泉佐野市医師会	2013.8
2	ひざ、股関節痛を乗り越えよう。歩ける喜び、関節に痛みのない生活を	藪野互平 澤田典与司	よみうり・健康講座	2013.10.26
3	よくわかるコンピューターナビゲーションによる人工関節手術	澤田典与司 藪野互平	よみうり・健康講座	2013.3.2
4	「関節リウマチ」内科と整形外科の観点から	入交重雄 小瀬弘樹	市民健康講座(泉佐野市)	2013.5.18



平成26年度

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	京セラ製アルミナ-on-アルミナ cemented THA(ABS:alumina bearing surface システム)の10年以上の成績	澤田典与司 藪野互平 榎谷昭一	HipJoint	40	523-526	2014
2	UKA(Unicomartmental Knee Arthroplasty)における Navigation の脛骨コンポーネント設置精度	澤田典与司 藪野互平 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣	日本人工関節学会誌	44	647-648	2014
3	Opioid Induced Hyperalgesia(OIH)を疑った心臓原発骨肉腫の下顎骨転移の一例	濱本秀一 荒木信人 山田修太郎 大島和也 外堀 司 城山 晋	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57	1287-1288	2014



平成27年度

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	2種類の Navigation systemを用いて metal augmentを、同一screwを固定した臼蓋再建法	澤田典与司 藪野互平 濱本秀一 亀山 貞 金澤元宣	Hip Joint	41	471-472	2015
2	UKAにおける変性矯正をNavigationで予測できるか？	澤田典与司 藪野互平 亀山 貞 濱本秀一 金澤元宣	日本人工関節学会誌	45	855-856	2015

(2) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Short-Term Results of TKA by the Hybrid Navigation Technuque(Combination of Navigation and Gap Technique)	Noriyoshi Sawada, Kohei yabuno, Motonori Kanazawa	ISTA2015	Poster	2015.10.1
2	Effect of Femoral Offset on soft Tensioning in Total Hip Arthroplasty intraoperative Measure With CT Based Navigation	Kohei yabuno, Noriyoshi Sawada, Motonori Kanazawa	ISTA2015	Oral	2015.10.2
3	Effect Of Femoral Offset On Hip Instability Total Hip Arthroplasty-intraoperative Measure With Ct Based Navigation	Kohei yabuno, Noriyoshi Sawada, Yuki Etani, Motonori Kanazawa	ORS 2016 Annual Meeting	Poster	2016.3.5
4	Accuracy of Tibial Component Implantation in Unicompartmental Knee Arthroplasty Using a Navigation System	Noriyoshi Sawada, Kohei yabuno, Yuki Etani, Rintaro Okada, Motonori Kanazawa	ORS 2016 Annual Meeting	Poster	2016.3.5
5	Risk Factors Of Deep Flexion Instability In Mobile Bearing Unicompartmental Knee Arthroplasty (UKA)	Noriyoshi Sawada, Kohei Yabuno, Noriyoshi Sawada, Motonori Kanazawa	ORS 2016 Annual Meeting	Poster	2016.3.5

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	人工膝関節置換術後早期に偽痛風発作を生じた2例	惠谷悠紀 西川昌孝 金城聖一 大脇 肇	第59回日本リウマチ学会総会学術集会(名古屋)	ポスター	2015.4.22
2	人工股関節全置換術後の歩行アシストロボットの効果と筋委縮の関係	濱本秀一 藪野互平 亀山 貞 澤田典与司 金澤元宣	第88回日本整形外科学会学術集会(神戸)	ポスター	2015.5.23
3	UKA (unicompartmental Knee arthroplasty)におけるnavigationの脛骨コンポーネント設置精度	澤田典与司 藪野互平 亀山 貞 濱本秀一 金澤元宣	第88回日本整形外科学会学術集会(神戸)	口演	2015.5.24
4	人工股関節全置換術後におけるロボットアシスト歩行訓練と通常の理学療法との比較	藪野互平 澤田典与司 亀山 貞 濱本秀一 金澤元宣	第88回日本整形外科学会学術集会(神戸)	ポスター	2015.5.24
5	スペシャルテーブルを使用したDirect Anterior Approachによるナビゲーション人工股関節全置換術の習熟曲線	藪野互平 澤田典与司	第42回日本股関節学会学術集会(大阪)	口演	2015.10.30
6	デザインの異なる2種類のTaper-Wedge型ステムのステム周囲骨反応について～J-TaperとAccolade Iステムの比較～	澤田典与司 藪野互平 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第42回日本股関節学会学術集会(大阪)	口演	2015.10.30
7	人工股関節全置換術後における歩行アシストロボットと通常の歩行訓練比較	藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第10回日本リハビリテーション医学会専門学術集会(東京)	口演	2015.11.27
8	スペシャルテーブルとナビゲーションの併用は前方アプローチTHAの導入を容易にするのか?	藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第46回日本人工関節学会(大阪)	口演	2016.2.26
9	モバイルベアリング型UKAにおける深屈曲時内側 gap 開大の危険因子	惠谷悠紀 藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第46回日本人工関節学会(大阪)	ポスター	2016.2.26
10	Oxford UKA (Unicompartmental Knee Arthroplasty)における Navigation の有用性	澤田典与司 藪野互平 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第46回日本人工関節学会(大阪)	口演	2016.2.26

(4) 研究会・講演会


番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	白蓋骨欠損に対する白蓋再建 Metal augmentとCupを同一screw固定した白蓋再建法	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第9回大阪大学股関節グループサマーセミナー2015(大津市)	2015.7.11
2	国際学会は歩行アシストをどう評価したか?—股関節と歩行アシストとの臨床研究を通じて—	藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第2回歩行リハビリテーション研究会(福岡)	2015.7.25
3	ロボットリハビリの臨床応用について	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第2回歩行リハビリテーション研究会(福岡)	2015.7.26
4	人工股関節置換術後症例に対するロボット歩行の有効性歩容の改善に向けた症例を通して」	山川雅史 藪野互平 澤田典与司 惠谷悠紀 岡田倫太郎 金澤元宣	第2回歩行リハビリテーション研究会(福岡)	2015.7.26

(5) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	運動器疾患	金澤元宣	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2015.10.11
2	痛みのないひざ股関節よもう一度！	藪野互平 澤田典与司	いずみ市民講座(和泉市)	2015.11.8
3	急性期病態類	金澤元宣	関西医療大学	2016.1

(6) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	注意すべき腰背部痛(整形外科領域を中心に)	金澤元宣	第185回臨床集談会	2015.10.22

 平成28年度

(1) 英文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Orthopaedic Proceedings	Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	EFFECT OF FEMORAL OFFSET ON SOFT TISSUE TENSIONING IN TOTAL HIP ARTHROPLASTY: INTRA-OPERATIVE MEASURE WITH CT-BASED NAVIGATION	98 B	137-137	2016
2	Orthopaedic Proceedings	Sawada N, Yabuno K, Kanazawa M	SHORT-TERM RESULTS OF TKA BY THE HYBRID NAVIGATION TECHNIQUE (COMBINATION OF NAVIGATION AND GAP TECHNIQUE)	98 B	17-17	2016
3	Orthopaedic Proceedings	Sawada N, Yabuno K, Kanazawa M	TEN-YEAR RESULTS OF ALUMINA-ON-ALUMINA THA WITH CEMENTED POLYETHYLENE-BACKED ACETABULAR COMPONENT	98 B	148-148	2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	スペシャルテーブルを使用したDAAによるナビゲーションTHAの習熟曲線	藪野互平 澤田典与司 金澤元宣	Hip Joint	42(1)	442-445	2016
2	デザインの異なる2種類のtaper-wedge型ステムの短期成績～J-TaperステムとAccoladeTMZFステムの比較～	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	Hip Joint	42(1)	630-633	2016

(3) 国際学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Effect of Femoral Offset on Hip instability in Total Hip Arthroplasty	Yabuno K, Sawada N, Etani Y, Kanazawa M	EORS	poster	2016.9.1
2	Risk factors of the deep flexion instability in mobile bearing unicompartmental knee arthroplasty (UKA)	Etani Y, Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	EORS	poster	2016.9.1
3	Accuracy of tibial component implantation in unicompartmental knee arthroplasty (UKA) using a navigation system	Sawada N, Yabuno K, Etani Y, Kanazawa M	EORS	oral	2016.9.1
4	Comparison Of Implant Alignment Between Conventional Method Patient Specific Instrument Method in Unicompaetmental Knee Arthroplasty	Goshima Atsushi, Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	ORS2017	poster	2017.3.1
5	Intraoperative Comparison of Patient Specific Instrument Position between two Different Designs using Navigation System	Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	ORS2017	poster	2017.3.1

(4) 国内学会報告


番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	TKA後の大腿骨顆上骨折に対し、テリパラチド製剤を使用した2例	五島篤史 中川 滋 塩見俊行 高橋信太郎 鈴鹿智章 山村在慶	第126回中部日本整形外科 災害外科学会・学術集会	ポスター	2016.4.8
2	外傷性後脛骨筋腱脱臼の一例	五島篤史 田中美成 天野 大 北 圭介	第127回中部日本整形外科 災害外科学会・学術集会	口演	2016.10.1
3	牽引ベットを使用した前方approachのpifall	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第42回関西股関節研究会	口演	2016.12.10
4	UKAでのPSI使用による大腿骨インプラントの設置の正確性	五島篤史 澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第47回日本人工関節学会	ポスター	2017.2.24
5	Oxford UKAの術中 bearing の動態解析	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第47回日本人工関節学会	口演	2017.2.24
6	人工膝関節全置換術におけるデザインの異なるPSIの術中精度比較	藪野互平 澤田典与司 金澤元宣	第47回日本人工関節学会	ポスター	2017.2.25

(5) 研究会・講演会

番号	整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1		痛みのない膝・股関節よもう一度	藪野互平	市民講座(岸和田波切ホール)	2017.3.25
2		痛みのない膝・股関節よもう一度	澤田典与司	市民講座(岸和田波切ホール)	2017.3.25

(6) 学術講演・講義

番号	整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1		急性期病態学	金澤元宣	関西医療大学	2016.7
2		運動器疾患	金澤元宣	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2016.10-11


 平成29年度

(1) 英文原著、総説、著書

番号	整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		EFFECT OF FEMORAL OFFSET ON HIP INSTABILITY IN TOTAL HIP ARTHROPLASTY	Yabuno K, Sawada N, Etani Y	Bone Joint J	99B	99-99	2017
2		ACCURACY OF TIBIAL COMPONENT IMPLANTATION IN UNICOMPARTMENTAL KNEE ARTHROPLASTY (UKA) USING A NAVIGATION SYSTEM	Sawada N, Yabuno K, Kanazawa M	Bone Joint J	99B	71-71	2017

(2) 和文原著、総説、著書

番号	整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		Oxford UKAの術中bearing動態	澤田典与司 藪野互平 五島篤史 金澤元宣	日本人工関節学会誌	47	169	2017
2		Triathlon PKRのNavigationの有用性	澤田典与司	Stryker's infos	30	34	2017

(3) 国際学会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1		Relationship between position of the patella after MFL reconstruction and length change of the graft	Miura T, Kita k, Amano H, Toritsuka Y, Uchida R, Shiozaki Y, Tanaka Y, Horibe S	Asia-Pacific Knee, Arthroscopy and Sports Medicine Society	poster	2017.4.28
2		Kinematic analysis of mobile bearing in Oxford Unicompartmental knee arthroplasty(UKA)	Sawada N, Yabuno K, Kanazawa M	EORS 2017	poster	2017.9.13
3		15 years results of cemented polyethylene backed alumina-on-alumina THA	Hirohaku D, Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M, Kushitani S	EORS 2017	poster	2017.9.14
4		Intraoperative comparison of patient specific instrumentation position between two different designs using navigation system in total knee arthroplasty	Yabuno K, Sawada N, Hirohaku D	EORS 2017	poster	2017.9.15
5		No Relationship Between Anteroposterior Laxity And Subject Outcome In Unicompartmental Knee Arthroplasty	Taihei Miura, Kohei Yabuno, Noriyoshi Sawada, Motonori Kanazawa	ORS2018	poster	2018.3.7
6		Does Post-operative Day Zero Physical Therapy Contribute to Faster Physical Recovery and Cost Effectiveness for Total Hip Arthroplasty Patients	Kohei Yabuno, Noriyoshi Sawada	ORS2018	poster	2018.3.7

(4) 国内学会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1		抗凝固療法中に誘因なく発症したコンパートメント症候群の1例	三浦泰平 天野 大 北 圭介 田中美成 岩崎幹季	南大阪整形外科談話会	口演	2017.4.10
2		MPFL再建術後の移植腱の状態と長さ変化に関する検討	三浦泰平 北 圭介 天野 大 鳥塚 之喜 内田良平 塩崎嘉樹	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	ポスター	2017.6.22
3		膝蓋骨不安定症の危険因子	三浦泰平 北 圭介 天野 大 田中美成	大阪スポーツ・関節鏡・膝手術(OSAK)研究会	口演	2017.9.2

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
4	抗凝固療法中に誘因なく発症したコンパートメント症候群の1例	三浦泰平 天野 大 北 圭介 田中美成 岩崎幹季	中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	口演	2017.10.6
5	デザインの異なる2種類のTaper-wedge型システムの短期成績~J-Taper と Accolade TMZF システムの比較~	畠中寿実 澤田典与司 三浦泰平 藪野互平 金澤元宣	中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	口演	2017.10.6
6	牽引ベッドを使用したDirect Anterior ApproachによるナビゲーションTHAの習熟曲線	藪野互平 澤田典与司 金澤元宣	日本股関節学会	口演	2017.10.20
7	2種類のNavigation systemを用いてmetal augmentを同一screw固定した臼蓋再建の短期成績	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	日本股関節学会	口演	2017.10.21
8	内側膝蓋大腿靭帯再建術後の膝蓋骨・大腿骨位置関係の変化とそれに関する因子の検討	三浦泰平 北 圭介 天野 大 鳥塚之喜 内田良平 塩崎嘉樹 田中美成	日本整形外科学会基礎学術集会	口演	2017.10.27
9	人工股関節全置換術における術当日リハビリテーションの臨床的有効性と経済的効果	藪野互平 澤田典与司 金澤元宣	日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会	口演	2017.10.28

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研究会名	年 月 日
1	My Knee experience in Japan	藪野互平	2nd MORE JAPANESE SYMOSIUM	2017.9.30
2	UKA navigationの現在と未来	澤田典与司 藪野互平	Knee CAS seminar	2017.12.2
3	人工股関節置換術におけるリハビリテーションの新しい取り組み~臨床的有効性と経済的効果~	藪野互平	歩行リハビリテーション研究会	2018.1.20

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	急性期病態学	金澤元宣	関西医療大学	2017
2	運動器疾患	金澤元宣	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2017.10-11

平成30年度

(1) 和文原著, 総説, 著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	UKAのナビゲーション	澤田典与司, 藪野互平	整形・災害外科	61(10):1245, 2018
2	当院における非骨傷性頸髄損傷の治療の検討	金澤元宣, 三浦泰平, 澤田典与司, 藪野互平	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	61(5):991, 2018
3	周術期に発症し、全身管理を要した脂肪塞栓症の2例の検討	吉元孝一, 日下部賢治	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	61(5):1035, 2018
4	膝窩動脈損傷の修復後に大量出血とコンパートメント症候群を来した1例の報告	日下部賢治, 吉元孝一	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	61(5):1039, 2018
5	TKA後疼痛管理における持続大腿神経ブロックと選択的脛骨神経ブロックの併用効果	池田将吾, など	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	61(4):845, 2018
6	医原性動脈損傷を合併した大腿骨骨折の3症例の報告	日下部賢治, など	日本骨折治療学会誌	40(4):1104, 2018

(2) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Post-Operative Day Zero Physical Therapy Contributes to Faster Physical Recovery and Cost Effectiveness for Total Hip Arthroplasty Patients	Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	ISTA2018	Poster	2018.10.11
2	Mid-Term Results of TKA by the Hybrid Navigation Technique(Combination of Navigation and Gap Technique)	Sawada N, Yabuno K, Ikeda S, Kanazawa M	ISTA2018	Poster	2018.10.11
3	Clinical Outcome of Medial Pivot Compared With Posterior Stabilized Total Knee Arthroplasty in the Same Patients	Ikeda S, Yabuno K, Sawada N	ISTA2018	Oral	2018.10.11

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	当院における非骨傷性頸髄損傷の治療検討	金澤元宣	中部日本整形外科災害外科学会学術集会	ポスター	2018.4.20
2	膝窩動脈損傷の修復後に大量出血とコンパートメント症候群を来した1例の報告	日下部賢治, 吉元孝一	中部日本整形外科災害外科学会学術集会	ポスター	2018.4.20
3	周術期に発症し、全身管理を要した脂肪塞栓症2例の検討	吉元孝一, 日下部賢治	中部日本整形外科災害外科学会学術集会	ポスター	2018.4.20


番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
4	TKA後疼痛管理における持続大腿神経ブロックと選択的脛骨神経ブロックの併用効果	池田将吾, など	中部日本整形外科災害外科学会学術集会	口演	2018.4.20
5	頸椎椎弓形成術後に症状増悪し脊髄サルコイドーシスが疑われた一例	松尾庸平, など	中部日本整形外科災害外科学会学術集会	ポスター	2018.4.21
6	両大腿骨遠位に発症したChronic expanding hematoma	池田将吾, など	日本整形外科学会基礎学術集会 骨・軟部腫瘍学術集会	ポスター	2018.7.13
7	救命器具としての骨盤C-Clampの使用と留意点	日下部賢治, 吉元孝一	中部日本整形外科災害外科学会学術集会	ポスター	2018.10.5
8	人工股関節全置換術同日リハビリテーションによる臨床的有効性と経済的効果	藪野互平, 澤田典与司	日本股関節学会学術集会	口演	2018.10.26
9	Dual Mobility Cupを使用したTHAの経験	澤田典与司, 藪野互平, 金澤元宣	日本股関節学会学術集会	口演	2018.10.27
10	C-Clampの救命における治療効果	日下部賢治, 吉元孝一	日本救急医学会総会・学術集会	ポスター	2018.11.20
11	菌血症後に、多椎間板及び多関節に同時に感染を認めた2例の報告	日下部賢治, など	日本集中治療学会学術集会	ポスター	2019.2.22

(4) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研究会名	年 月 日
1	右TKA後周辺骨折(感染再燃)に対して治療に難渋した症例	澤田典与司, 藪野互平	Stryker Great expectations West2018	2018.8.25
2	救急よりの整形外科医～整形と救急の医療の狭間で～	日下部賢治	日本整形外傷セミナー	2018.9.15

(5) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	急性期病態学	金澤元宣	関西医療大学	
2	運動器疾患	金澤元宣	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2018.10-11

 平成31年度・令和元年度

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	頸椎骨折患者に気管切開が必要となる因子の解析	日下部賢治, 小野恵	日本集中治療学会	ポスター	2019.3.3
2	頸椎骨折患者に気管切開が必要となる因子の解析	日下部賢治, 金澤元宣	日本整形外科学会基礎学術集会	ポスター	2019.5.9
3	当院における非骨傷性頸髄損傷に関する検討	吉元孝一, 日下部賢治	日本外傷学会	ポスター	2019.6.9
4	橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術後の遅発性長母指屈曲筋腱損傷の検討	中嶋望, 他	日本骨折治療学会	口演	2019.6.29
5	Masquelet法を用いて治療した骨欠損を伴う指節骨開放骨折の一例	新子祐介, 中嶋望, 他	日本骨折治療学会	ポスター	2019.6.29
6	重症外傷患者の骨折治療では創外固定の積極的利用が全身管理上で有用である	日下部賢治, 吉元孝一, 中尾彰太, 松岡哲也	日本救急医学会総会・学術集会	口演	2019.10.4

(2) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研究会名	年 月 日
1	救命センターでの骨折治療	日下部賢治	南大阪整形外科談話会	2019.11.11
2	牽引ベットを使用したDAA THAのビットフォール	新子祐介, 澤田典与司, 中嶋望, 金澤元宣	南大阪整形外科談話会	2019.11.11